

第3章 市民・事業者向けアンケート調査

リニア新駅候補地のスクリーニングと並行して、「①市民」「②事業者」を対象としたアンケート調査を実施した。また、アンケート調査結果を踏まえ、スクリーニングに当たっての条件設定の検証を行った。

3.1. 市民向けアンケート調査

(1) 目的

本アンケート調査は、市民にリニア中央新幹線中間駅の誘致に向けて、市が積極的に動いていることをアピールすることに加え、リニア中央新幹線を大和郡山市へ誘致することに関する意見や、リニア中間駅を中心とした新たなまちづくりに関する市民意向を把握することを主な目的として実施した。

(2) 調査対象

市民を対象とし、1,500名程度を無作為抽出した。

(3) 調査方法

アンケート案内を送付し、その案内に記載したQRコードからアンケートフォームにアクセスしていただき回答していただいた。アンケート案内の作成及び印刷、アンケートフォームの作成、回答の集計は受注者が行い、対象者の抽出及びアンケート案内の発送は発注者が行った。

(4) 調査期間

令和3年12月14日（火）から令和4年1月10日（月）まで

(5) 回答結果

回答結果は以下に示すとおりである。

表 3.1 市民向けアンケート調査 回答結果

配布	回答	回答率
1,500 件	356 件	23.7%

(6) 設問内容

市民向けアンケート調査の設問内容を次頁に示す。

表 3.2 市民向けアンケート調査 設問内容

番号	設問内容
問 1	あなたの年齢をお聞かせください。〔1つ選択〕
問 2	あなたの職業をお聞かせください。〔1つ選択〕
問 3	あなたのお住いの地域をお聞かせください。〔1つ選択〕
問 4-1	あなたは JR 東海が 2045 年の東京－大阪間の全線開業（最大 8 年間を前倒しし、2037 年開業）を目指し、リニア中央新幹線計画を進めていることを知っていましたか。 （東京－名古屋間は 2027 年開業を目指し、工事を進めています。） 〔1つ選択〕
問 4-2	問 4-1 で「ア．知っていた」もしくは「イ．聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった」と回答した方にお聞きします。当市が大和郡山市内へリニア中間駅を設置することを目指し、誘致に向けた活動を行っていることを知っていましたか。 〔1つ選択〕
問 5	あなたがリニア中央新幹線の開業や大和郡山市内に中間駅を設置することについて、期待することは何ですか。〔2つ選択〕
問 6	あなたがリニア中央新幹線の開業や大和郡山市内に中間駅を設置することについて、課題だと考えることは何ですか。〔2つ選択〕
問 7	リニア中央新幹線の開業に伴い、大和郡山市のまちづくり（インフラ整備など）は、どのように進めるべきだと思いますか。〔1つ選択〕
問 8	当市では現在、リニア中間駅の誘致に向けて候補地の調査・検討を行っています。リニア中間駅の候補地を検討するに当たり、あなたが最も重要だと考えることは何ですか。〔2つ選択〕

(7)市民向けアンケート調査結果

アンケート調査の質問項目と回答は下記の通りである。

問1

【市民向け】

あなたの年齢をお聞かせください。

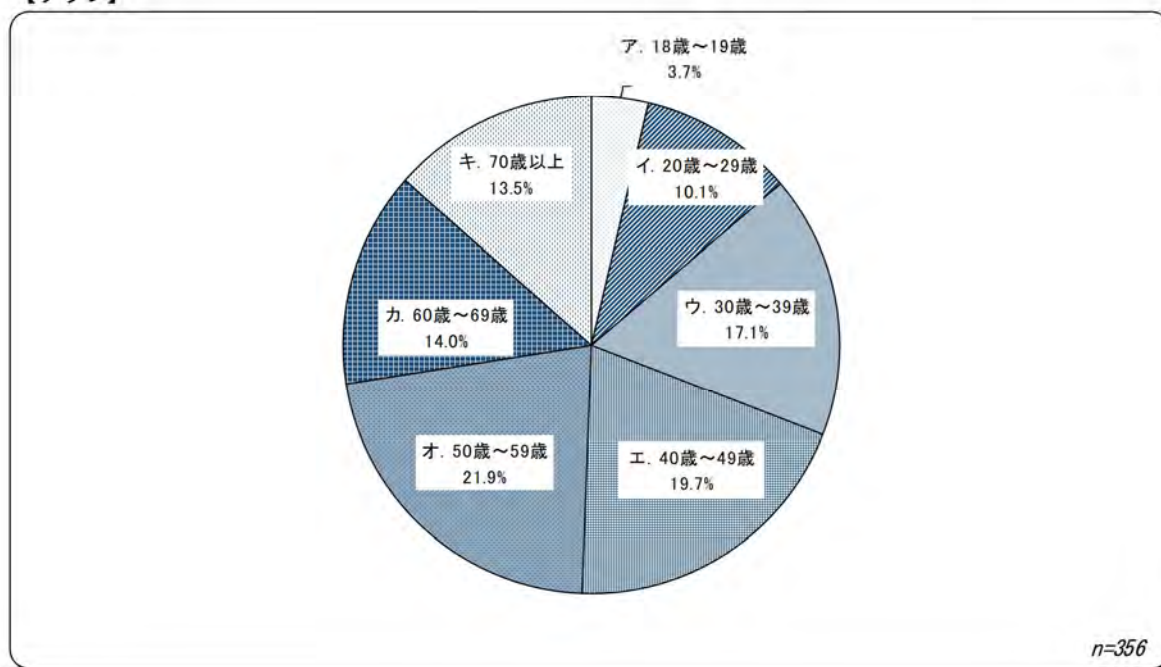
(当てはまるもの1つを選択してください)

【回答結果】

n=356

選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
ア. 18歳～19歳	13	3.7
イ. 20歳～29歳	36	10.1
ウ. 30歳～39歳	61	17.1
エ. 40歳～49歳	70	19.7
オ. 50歳～59歳	78	21.9
カ. 60歳～69歳	50	14.0
キ. 70歳以上	48	13.5
合計	356	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「オ. 50歳～59歳 (21.9%)」であり、次いで「エ. 40歳～49歳 (19.7%)」、「ウ. 30歳～39歳 (17.1%)」であった。

問 2

【市民向け】

あなたの職業をお聞かせください。

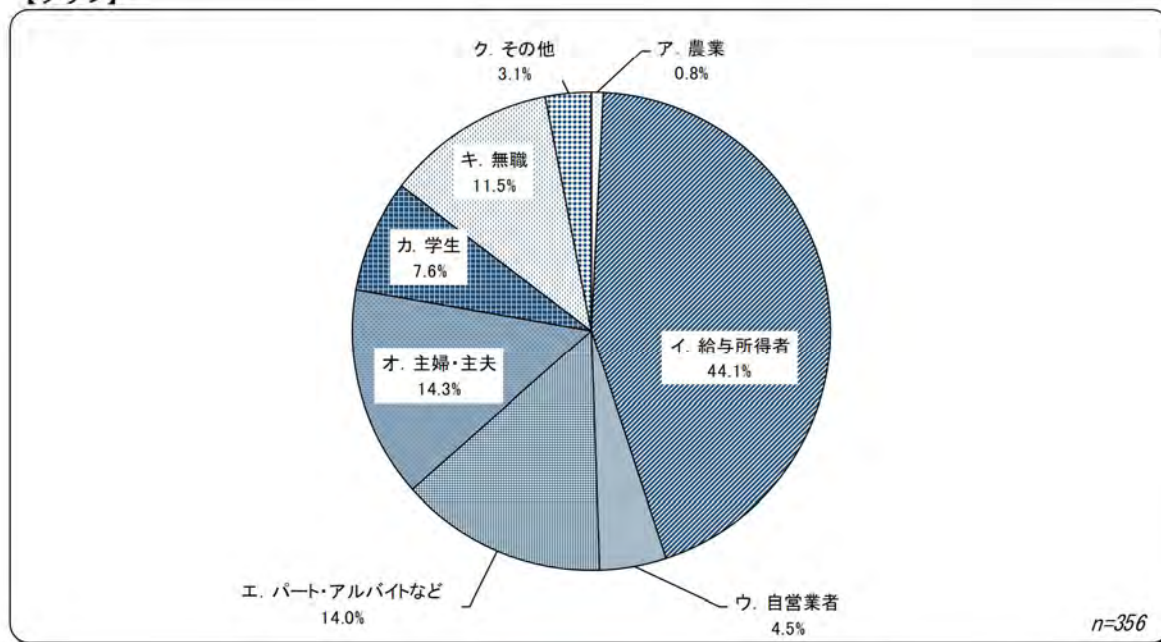
(当てはまるもの1つを選択してください)

【回答結果】

n=356

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 農業	3	0.8
イ. 給与所得者	157	44.1
ウ. 自営業者	16	4.5
エ. パート・アルバイトなど	50	14.0
オ. 主婦・主夫	51	14.3
カ. 学生	27	7.6
キ. 無職	41	11.5
ク. その他	11	3.1
合計	356	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「イ. 給与所得者（44.1%）」であり、次いで「オ. 主婦・主夫（14.3%）」、「エ. パート・アルバイトなど（14%）」であった。

問 3

【市民向け】

あなたのお住いの地域をお聞かせください。

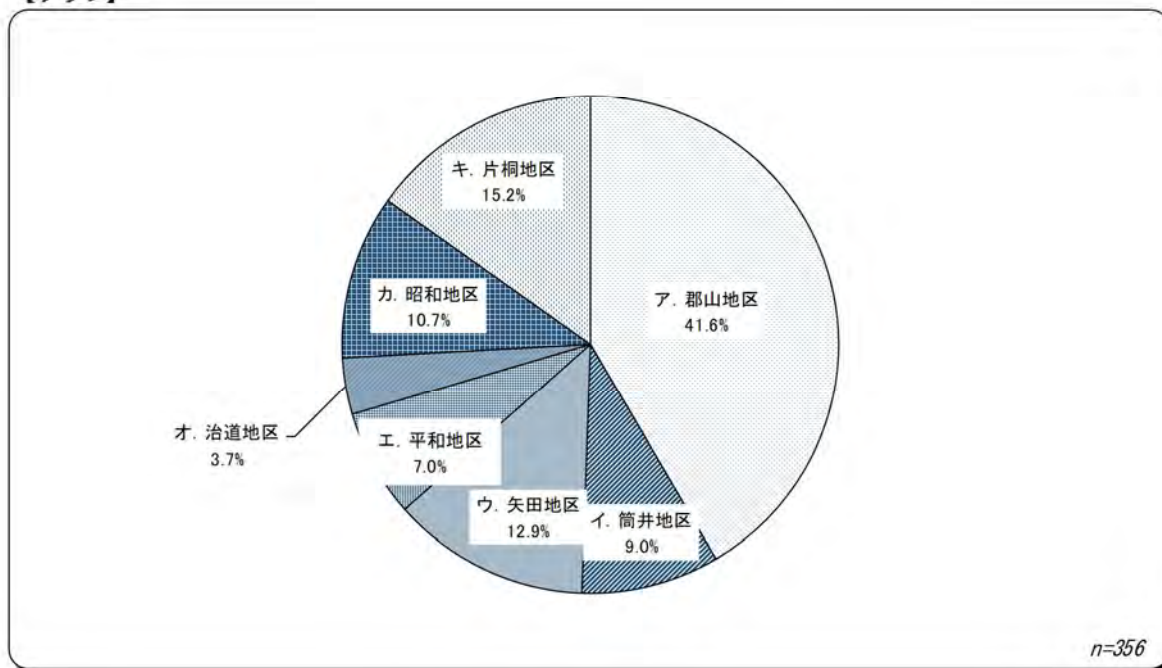
(当てはまるもの1つを選択してください)

【回答結果】

n=356

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 郡山地区	148	41.6
イ. 筒井地区	32	9.0
ウ. 矢田地区	46	12.9
エ. 平和地区	25	7.0
オ. 治道地区	13	3.7
カ. 昭和地区	38	10.7
キ. 片桐地区	54	15.2
合計	356	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ア. 郡山地区（41.6％）」であり、次いで「キ. 片桐地区（15.2％）」、「ウ. 矢田地区（12.9％）」であった。

問 4-1

【市民向け】

あなたは JR 東海が 2045 年の東京－大阪間の全線開業（最大 8 年間で前倒しし、2037 年開業）を目指し、リニア中央新幹線計画を進めていることを知っていましたか。

（東京－名古屋間は 2027 年開業を目指し、工事を進めています。）

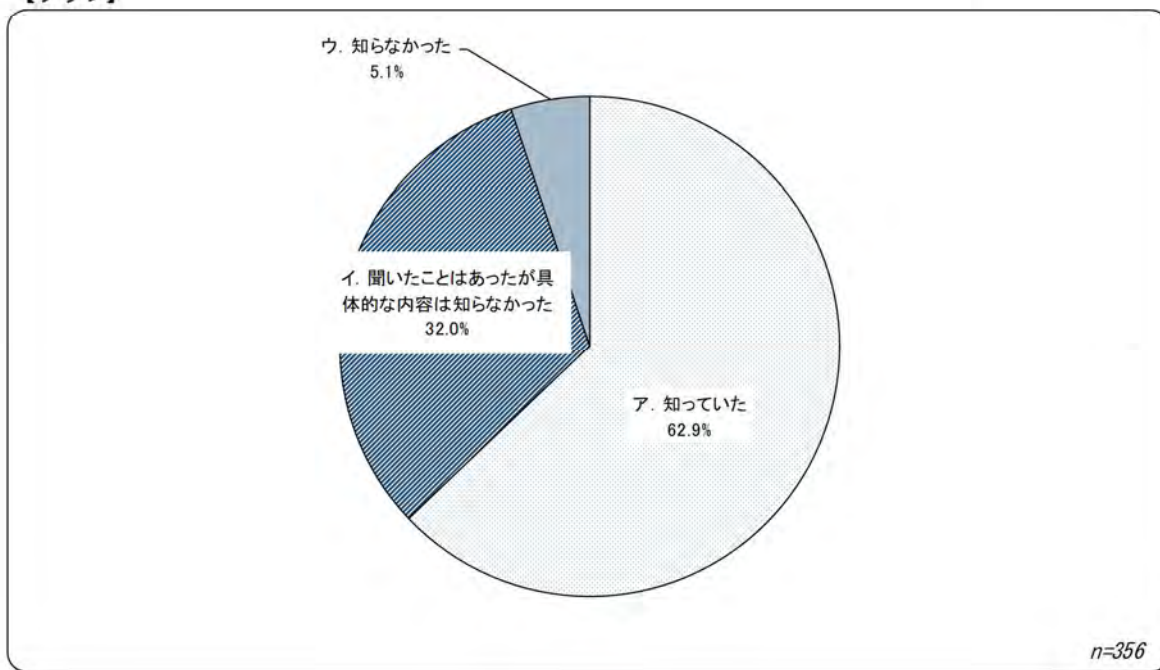
（当てはまるもの 1 つを選択してください）

【回答結果】

選択肢	回答者数（人）	構成比（%）
ア. 知っていた	224	62.9
イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった	114	32.0
ウ. 知らなかった	18	5.1
合計	356	100.0

n=356

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ア. 知っていた（62.9%）」であり、次いで「イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった（32%）」、「ウ. 知らなかった（5.1%）」であった。

問 4-2

【市民向け】

問 4-1 で「ア. 知っていた」もしくは「イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった」と回答した方にお聞きします。当市が大和郡山市内ヘリニア中間駅を設置することを目指し、誘致に向けた活動を行っていることを知っていましたか。

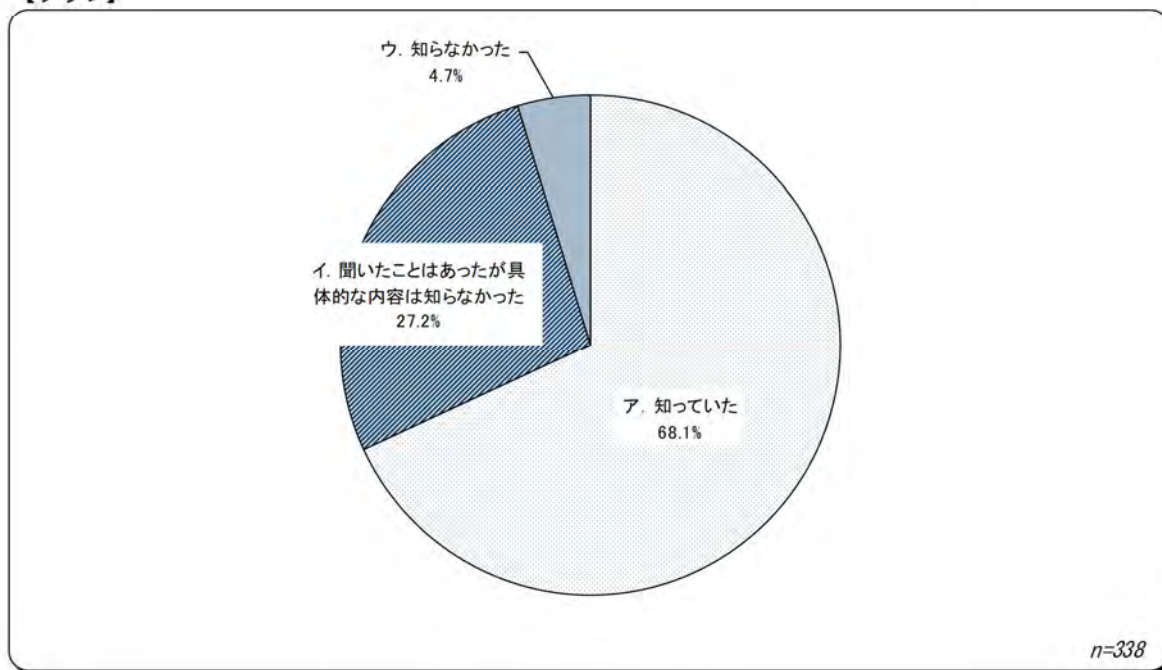
(当てはまるもの1つを選択してください)

【回答結果】

選択肢	回答者数 (人)	構成比 (%)
ア. 知っていた	230	68.1
イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった	92	27.2
ウ. 知らなかった	16	4.7
合計	338	100.0

n=338

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ア. 知っていた (68.1%)」であり、次いで「イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった (27.2%)」、「ウ. 知らなかった (4.7%)」であった。

問 5

【市民向け】

あなたがリニア中央新幹線の開業や大和郡山市内に中間駅を設置することについて、期待することは何ですか。

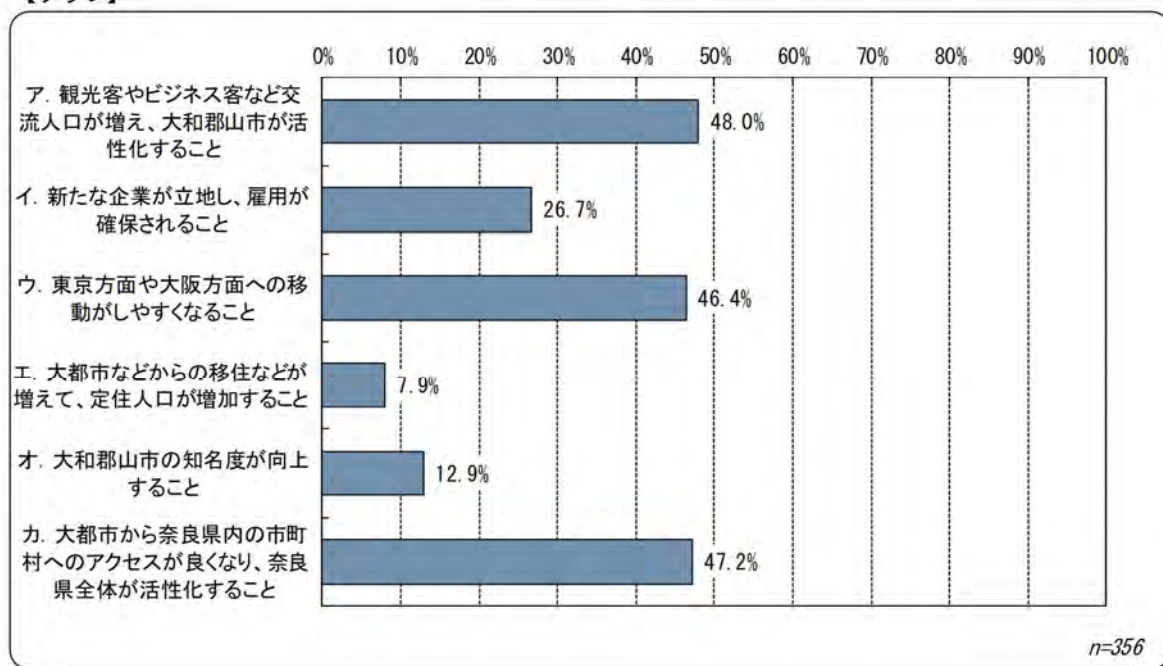
(当てはまるもの2つを選択してください)

【回答結果】

n=356

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 観光客やビジネス客など交流人口が増え、大和郡山市が活性化すること	171	48.0
イ. 新たな企業が立地し、雇用が確保されること	95	26.7
ウ. 東京方面や大阪方面への移動がしやすくなること	165	46.4
エ. 大都市などからの移住などが増えて、定住人口が増加すること	28	7.9
オ. 大和郡山市の知名度が向上すること	46	12.9
カ. 大都市から奈良県内の市町村へのアクセスが良くなり、奈良県全体が活性化すること	168	47.2
合計	356	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ア. 観光客やビジネス客など交流人口が増え、大和郡山市が活性化すること（48%）」であり、次いで「カ. 大都市から奈良県内の市町村へのアクセスが良くなり、奈良県全体が活性化すること（47.2%）」、「ウ. 東京方面や大阪方面への移動がしやすくなること（46.4%）」であった。

問 6

【市民向け】

あなたがリニア中央新幹線の開業や大和郡山市内に中間駅を設置することについて、課題だと考えることは何ですか。

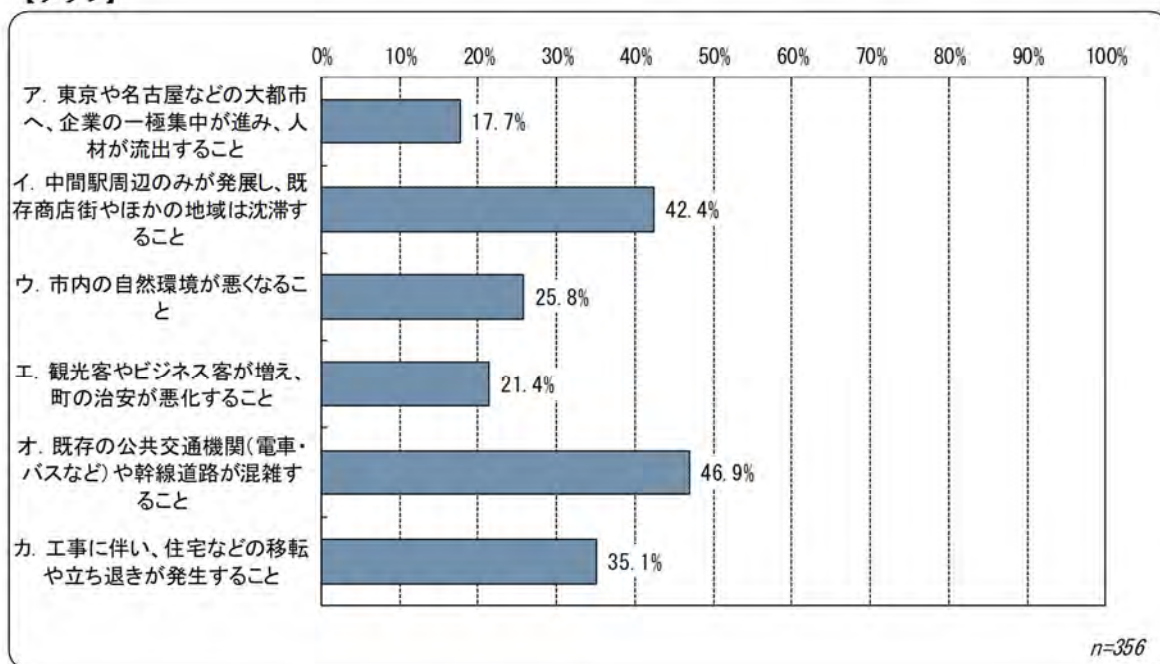
(当てはまるもの2つを選択してください)

【回答結果】

n=356

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 東京や名古屋などの大都市へ、企業の一極集中が進み、人材が流出すること	63	17.7
イ. 中間駅周辺のみが発展し、既存商店街やほかの地域は沈滞すること	151	42.4
ウ. 市内の自然環境が悪くなること	92	25.8
エ. 観光客やビジネス客が増え、町の治安が悪化すること	76	21.4
オ. 既存の公共交通機関（電車・バスなど）や幹線道路が混雑すること	167	46.9
カ. 工事に伴い、住宅などの移転や立ち退きが発生すること	125	35.1
合計	356	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「オ. 既存の公共交通機関（電車・バスなど）や幹線道路が混雑すること（46.9%）」であり、次いで「イ. 中間駅周辺のみが発展し、既存商店街やほかの地域は沈滞すること（42.4%）」、「カ. 工事に伴い、住宅などの移転や立ち退きが発生すること（35.1%）」であった。

問 7

【市民向け】

リニア中央新幹線の開業に伴い、大和郡山市のまちづくり（インフラ整備など）は、どのように進めるべきだと思いますか。

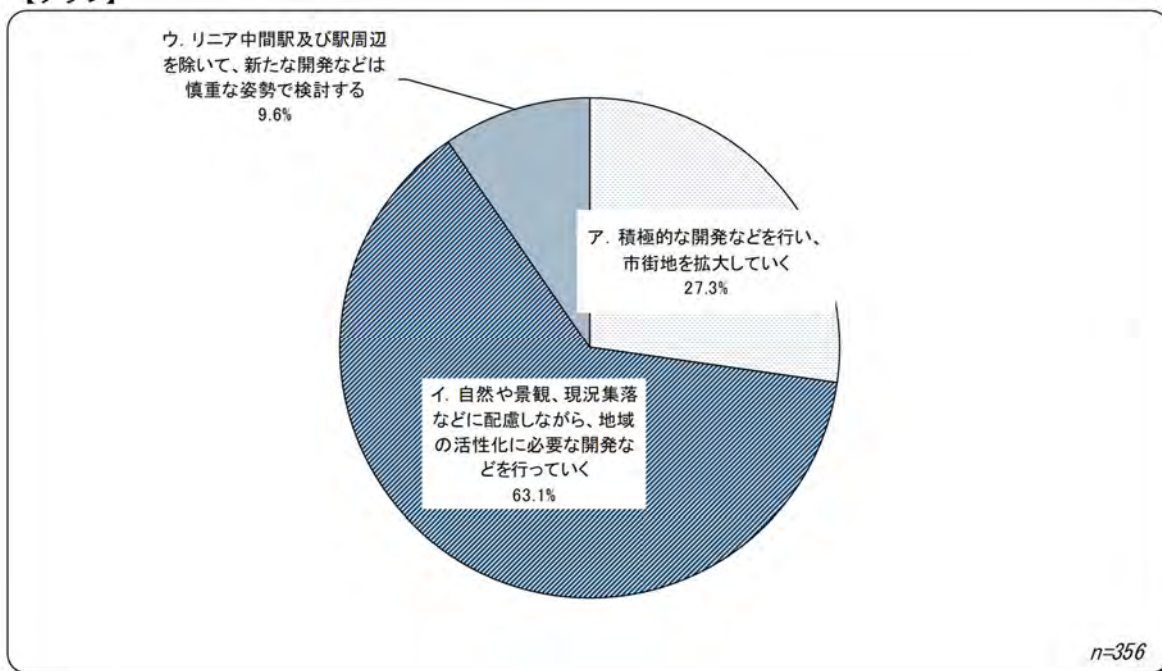
（当てはまるもの1つを選択してください）

【回答結果】

n=356

選択肢	回答者数（人）	構成比（%）
ア．積極的な開発などを行い、市街地を拡大していく	97	27.3
イ．自然や景観、現況集落などに配慮しながら、地域の活性化に必要な開発などを行っていく	225	63.2
ウ．リニア中間駅及び駅周辺を除いて、新たな開発などは慎重な姿勢で検討する	34	9.6
合計	356	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「イ．自然や景観、現況集落などに配慮しながら、地域の活性化に必要な開発などを行っていく（63.2%）」であり、次いで「ア．積極的な開発などを行い、市街地を拡大していく（27.3%）」、「ウ．リニア中間駅及び駅周辺を除いて、新たな開発などは慎重な姿勢で検討する（9.6%）」であった。

問 8

【市民向け】

当市では現在、リニア中間駅の誘致に向けて候補地の調査・検討を行っています。リニア中間駅の候補地を検討するに当たり、あなたが最も重要だと考えることは何ですか。

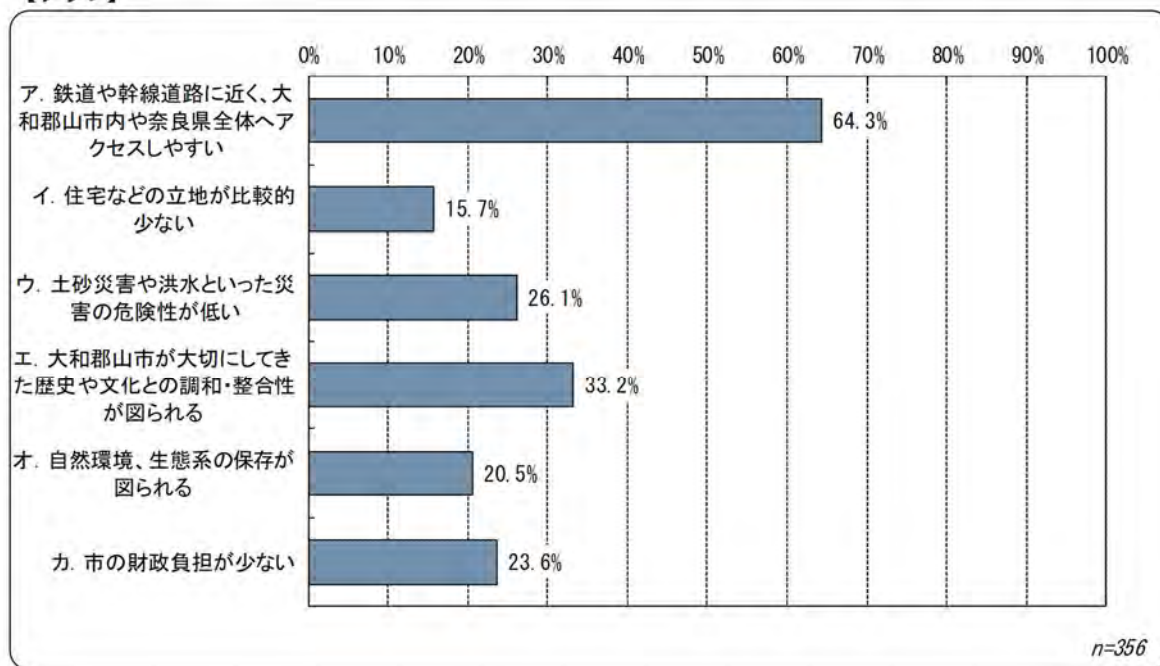
(当てはまるもの2つを選択してください)

【回答結果】

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 鉄道や幹線道路に近く、大和郡山市内や奈良県全体へアクセスしやすい	229	64.3
イ. 住宅などの立地が比較的少ない	56	15.7
ウ. 土砂災害や洪水といった災害の危険性が低い	93	26.1
エ. 大和郡山市が大切にしてきた歴史や文化との調和・整合性が図られる	118	33.2
オ. 自然環境、生態系の保存が図られる	73	20.5
カ. 市の財政負担が少ない	84	23.6
合計	356	100.0

n=356

【グラフ】



n=356

○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ア. 鉄道や幹線道路に近く、大和郡山市内や奈良県全体へアクセスしやすい（64.3%）」であり、次いで「エ. 大和郡山市が大切にしてきた歴史や文化との調和・整合性が図られる（33.2%）」、「ウ. 土砂災害や洪水といった災害の危険性が低い（26.1%）」であった。

3.2. 事業者向けアンケート調査

(1) 目的

本アンケート調査は、商工会及び昭和工業団地協議会にリニア中央新幹線中間駅の誘致に向けて、市が積極的に動いていることをアピールすることに加え、リニア中央新幹線を大和郡山市へ誘致することに関する意見や、リニア中間駅を中心とした新たなまちづくりに関する市民意向を把握することを主な目的として実施した。

(2) 調査対象

商工会の会員の中から、100 団体程度を無作為抽出した。

昭和工業団地協議会の会員 80 名を対象とした。

(3) 調査方法

アンケート案内を送付し、その案内に記載した QR コードからアンケートフォームにアクセスしていただき回答していただいた。アンケート案内の作成及び印刷、アンケートフォームの作成、回答の集計は受注者が行い、対象者の抽出及びアンケート案内の発送は発注者が行った。

(4) 調査期間

令和 3 年 12 月 21 日（火）から令和 4 年 1 月 28 日（金）まで

(5) 回答結果

回答結果は以下に示すとおりである。

表 3.3 事業者向けアンケート調査 回答結果

配布	回答	回答率
180 件	49 件	27.2%

(6) 設問内容

事業者向けアンケート調査の設問内容を次頁に示す。

表 3.4 事業者向けアンケート調査 設問内容

番号	設問内容
問 1	貴社の主たる業種をお聞かせください。【1つ選択】
問 2	貴社の主たる事業所が立地する地域をお聞かせください。【1つ選択】
問 3-1	あなたは JR 東海が 2045 年の東京－大阪間の全線開業（最大 8 年間を前倒しし、2037 年開業）を目指し、リニア中央新幹線計画を進めていることを知っていましたか。（東京－名古屋間は 2027 年開業を目指し、工事を進めています。）【1つ選択】
問 3-2	問 3-1 で「ア．知っていた」もしくは「イ．聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった」と回答した方にお聞きします。当市が大和郡山市内へリニア中間駅を設置することを目指し、誘致に向けた活動を行っていることを知っていましたか。【1つ選択】
問 4	貴社がリニア中央新幹線の開業や大和郡山市内に中間駅を設置することについて、期待することは何ですか。【2つ選択】
問 5	貴社がリニア中央新幹線の開業や大和郡山市内に中間駅を設置することについて、課題だと考えることは何ですか。【2つ選択】
問 6	リニア中央新幹線の開業に伴い、大和郡山市のまちづくり（インフラ整備など）は、どのように進めるべきだと思いますか。【1つ選択】
問 7	当市では現在、リニア中間駅の誘致に向けて候補地の調査・検討を行っています。リニア中間駅の候補地を検討するに当たり、貴社が最も重要だと考えることは何ですか。【2つ選択】
問 8	その他にご意見がございましたら、ご自由に記入ください【自由意見】

(7)事業者向けアンケート調査結果

アンケート調査の質問項目と回答は下記の通りである。

問1

【事業者向け】

貴社の主たる業種をお聞かせください。

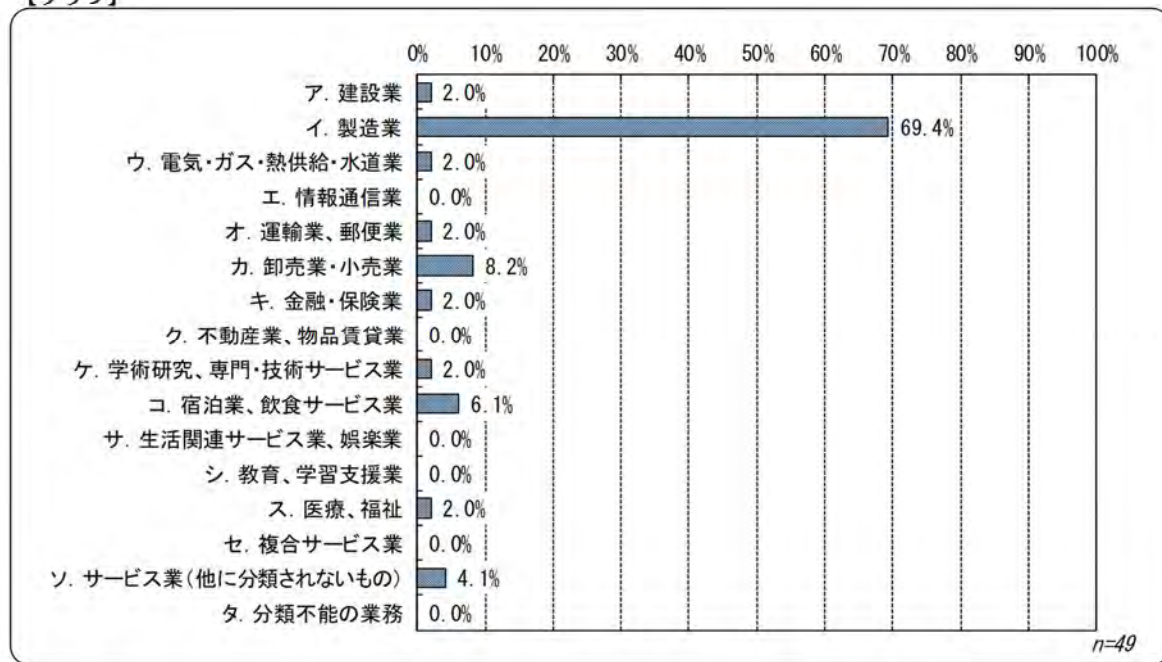
(当てはまるもの1つを選択してください)

【回答結果】

n=49

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 建設業	1	2.0
イ. 製造業	34	69.4
ウ. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	2.0
エ. 情報通信業	0	0.0
オ. 運輸業、郵便業	1	2.0
カ. 卸売業・小売業	4	8.2
キ. 金融・保険業	1	2.0
ク. 不動産業、物品賃貸業	0	0.0
ケ. 学術研究、専門・技術サービス業	1	2.0
コ. 宿泊業、飲食サービス業	3	6.1
サ. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0
シ. 教育、学習支援業	0	0.0
ス. 医療、福祉	1	2.0
セ. 複合サービス業	0	0.0
ソ. サービス業（他に分類されないもの）	2	4.1
タ. 分類不能の業務	0	0.0
合計	49	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・本設問において最も多かった回答は、「イ. 製造業（69.4%）」であり、次いで「カ. 卸売業・小売業（8.2%）」、「コ. 宿泊業、飲食サービス業（6.1%）」であった。

問 2

【事業者向け】

貴社の主たる事業所が立地する地域をお聞かせください。

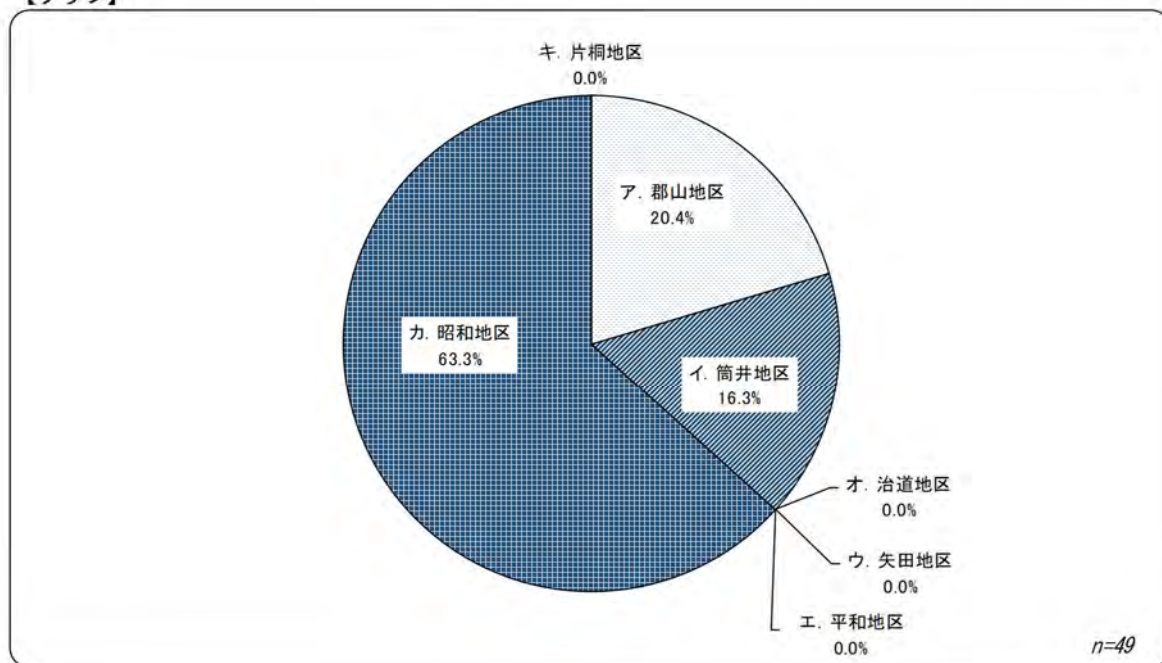
(当てはまるもの1つを選択してください)

【回答結果】

選択肢	回答者数（人）	構成比（%）
ア. 郡山地区	10	20.4
イ. 筒井地区	8	16.3
ウ. 矢田地区	0	0.0
エ. 平和地区	0	0.0
オ. 治道地区	0	0.0
カ. 昭和地区	31	63.3
キ. 片桐地区	0	0.0
合計	49	100.0

n=49

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「カ. 昭和地区（63.3%）」であり、次いで「ア. 郡山地区（20.4%）」、「イ. 筒井地区（16.3%）」であった。

問 3-1

【事業者向け】

貴社（あなた）は JR 東海が 2045 年の東京－大阪間の全線開業（最大 8 年間で前倒しし、2037 年開業）を目指し、リニア中央新幹線計画を進めていることを知っていましたか。

（東京－名古屋間は 2027 年開業を目指し、工事を進めています。）

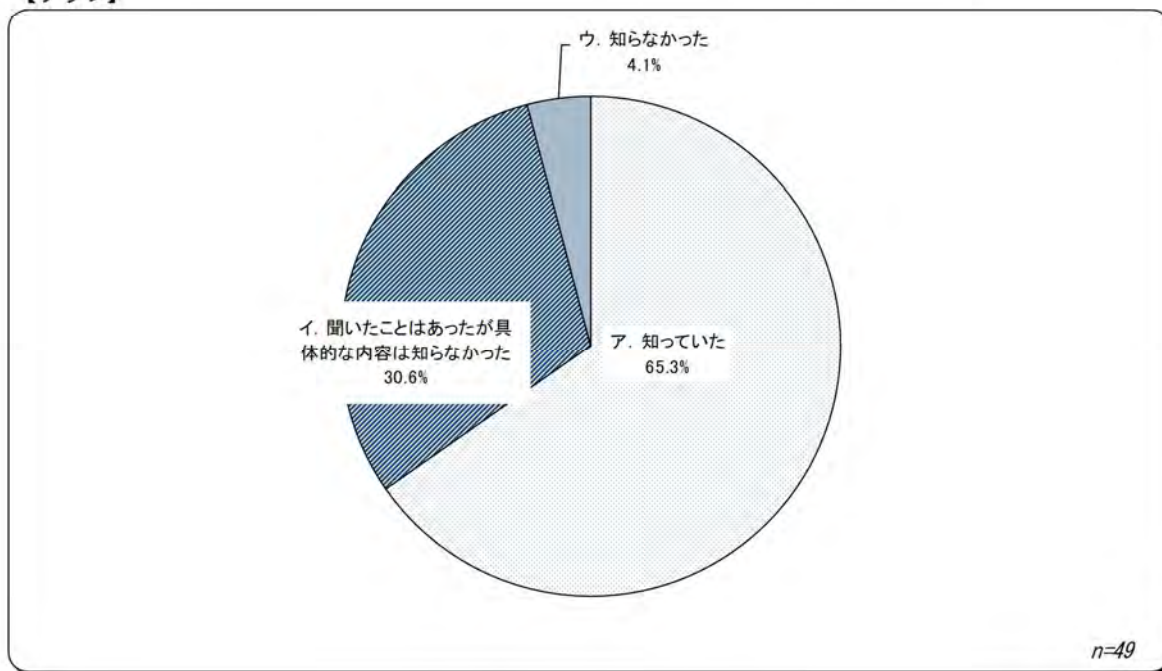
（当てはまるもの 1 つを選択してください）

【回答結果】

n=49

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 知っていた	32	65.3
イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった	15	30.6
ウ. 知らなかった	2	4.1
合計	49	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ア. 知っていた（65.3%）」であり、次いで「イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった（30.6%）」、「ウ. 知らなかった（4.1%）」であった。

問 3-2

【事業者向け】

問 3-1 で「ア. 知っていた」もしくは「イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった」と回答した方にお聞きします。当市が大和郡山市内ヘリニア中間駅を設置することを目指し、誘致に向けた活動を行っていることを知っていましたか。

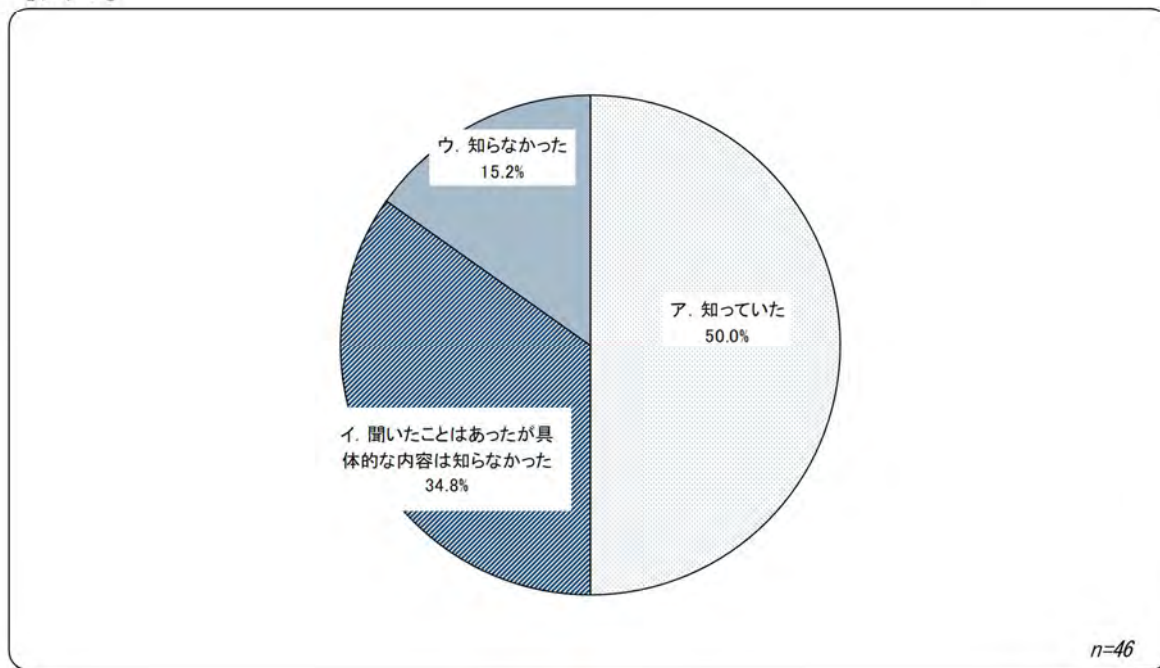
(当てはまるもの1つを選択してください)

【回答結果】

選択肢	回答者数（人）	構成比（%）
ア. 知っていた	23	50.0
イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった	16	34.8
ウ. 知らなかった	7	15.2
合計	46	100.0

n=46

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ア. 知っていた（50%）」であり、次いで「イ. 聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった（34.8%）」、「ウ. 知らなかった（15.2%）」であった。

問 4

【事業者向け】

貴社がリニア中央新幹線の開業や大和郡山市内に中間駅を設置することについて、期待することとは何ですか。

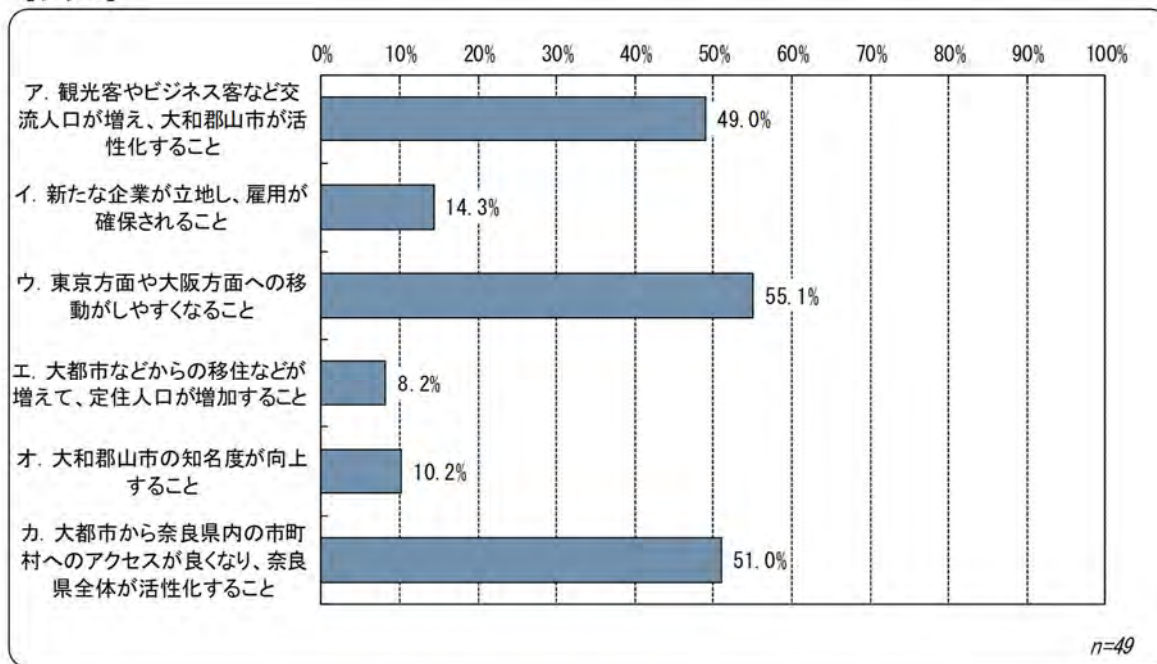
(当てはまるもの2つを選択してください)

【回答結果】

n=49

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 観光客やビジネス客など交流人口が増え、大和郡山市が活性化すること	24	49.0
イ. 新たな企業が立地し、雇用が確保されること	7	14.3
ウ. 東京方面や大阪方面への移動がしやすくなること	27	55.1
エ. 大都市などからの移住などが増えて、定住人口が増加すること	4	8.2
オ. 大和郡山市の知名度が向上すること	5	10.2
カ. 大都市から奈良県内の市町村へのアクセスが良くなり、奈良県全体が活性化すること	25	51.0
合計	49	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ウ. 東京方面や大阪方面への移動がしやすくなること（55.1%）」であり、次いで「カ. 大都市から奈良県内の市町村へのアクセスが良くなり、奈良県全体が活性化すること（51%）」、「ア. 観光客やビジネス客など交流人口が増え、大和郡山市が活性化すること（49%）」であった。

問 5

【事業者向け】

貴社がリニア中央新幹線の開業や大和郡山市内に中間駅を設置することについて、課題だと考えることは何ですか。

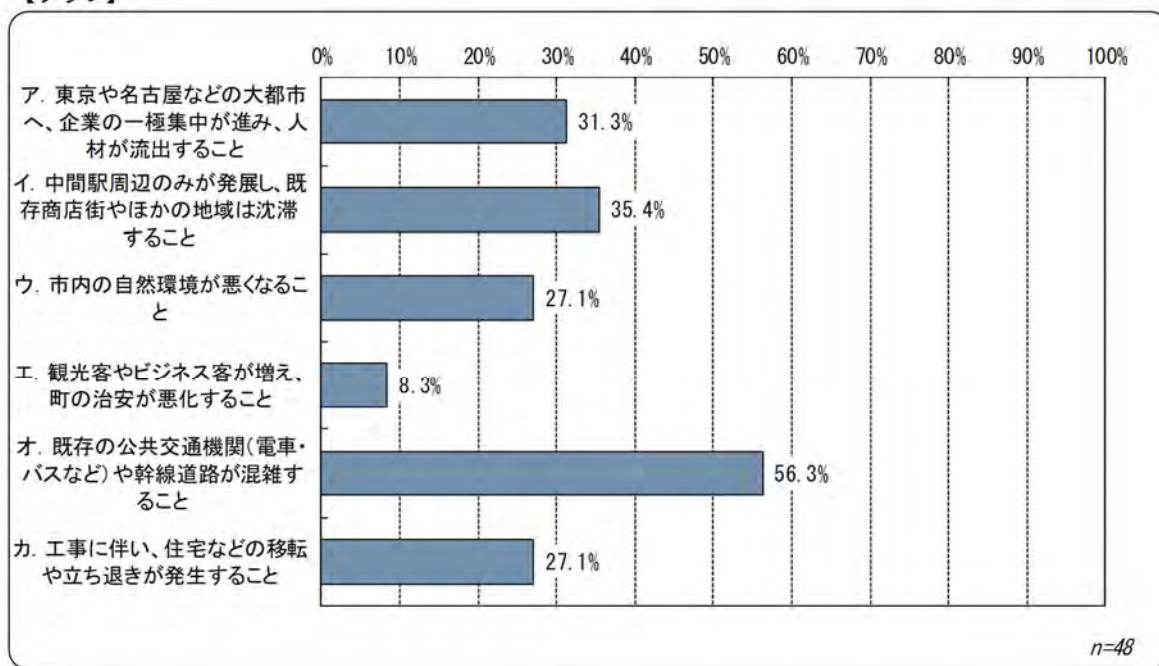
(当てはまるもの2つを選択してください)

【回答結果】

n=48

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 東京や名古屋などの大都市へ、企業の一極集中が進み、人材が流出すること	15	31.3
イ. 中間駅周辺のみが発展し、既存商店街やほかの地域は沈滞すること	17	35.4
ウ. 市内の自然環境が悪くなること	13	27.1
エ. 観光客やビジネス客が増え、町の治安が悪化すること	4	8.3
オ. 既存の公共交通機関（電車・バスなど）や幹線道路が混雑すること	27	56.3
カ. 工事に伴い、住宅などの移転や立ち退きが発生すること	13	27.1
合計	48	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「オ. 既存の公共交通機関（電車・バスなど）や幹線道路が混雑すること（56.3%）」であり、次いで「イ. 中間駅周辺のみが発展し、既存商店街やほかの地域は沈滞すること（35.4%）」、「ア. 東京や名古屋などの大都市へ、企業の一極集中が進み、人材が流出すること（31.3%）」であった。

問 6

【事業者向け】

リニア中央新幹線の開業に伴い、大和郡山市のまちづくり（インフラ整備など）は、どのように進めるべきだと思いますか。

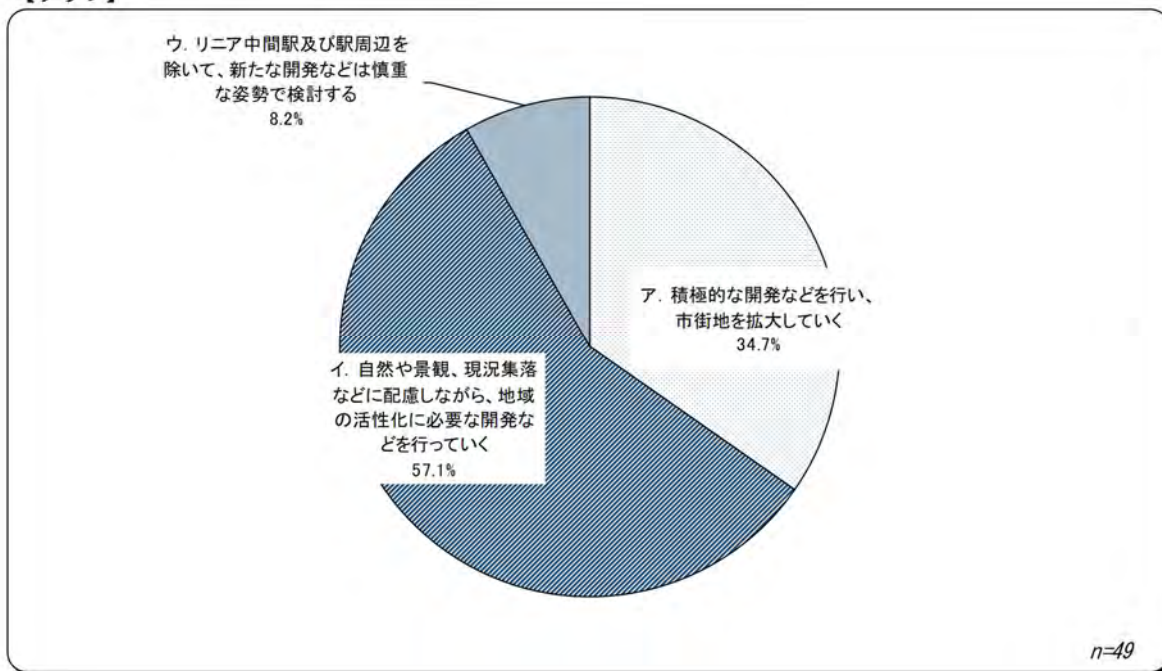
（当てはまるもの1つを選択してください）

【回答結果】

選択肢	回答者数（人）	構成比（%）
ア. 積極的な開発などを行い、市街地を拡大していく	17	34.7
イ. 自然や景観、現況集落などに配慮しながら、地域の活性化に必要な開発などを行っていく	28	57.1
ウ. リニア中間駅及び駅周辺を除いて、新たな開発などは慎重な姿勢で検討する	4	8.2
合計	49	100.0

n=49

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「イ. 自然や景観、現況集落などに配慮しながら、地域の活性化に必要な開発などを行っていく（57.1%）」であり、次いで「ア. 積極的な開発などを行い、市街地を拡大していく（34.7%）」、「ウ. リニア中間駅及び駅周辺を除いて、新たな開発などは慎重な姿勢で検討する（8.2%）」であった。

問 7

【事業者向け】

当市では現在、リニア中間駅の誘致に向けて候補地の調査・検討を行っています。リニア中間駅の候補地を検討するに当たり、貴社が最も重要だと考えることは何ですか。

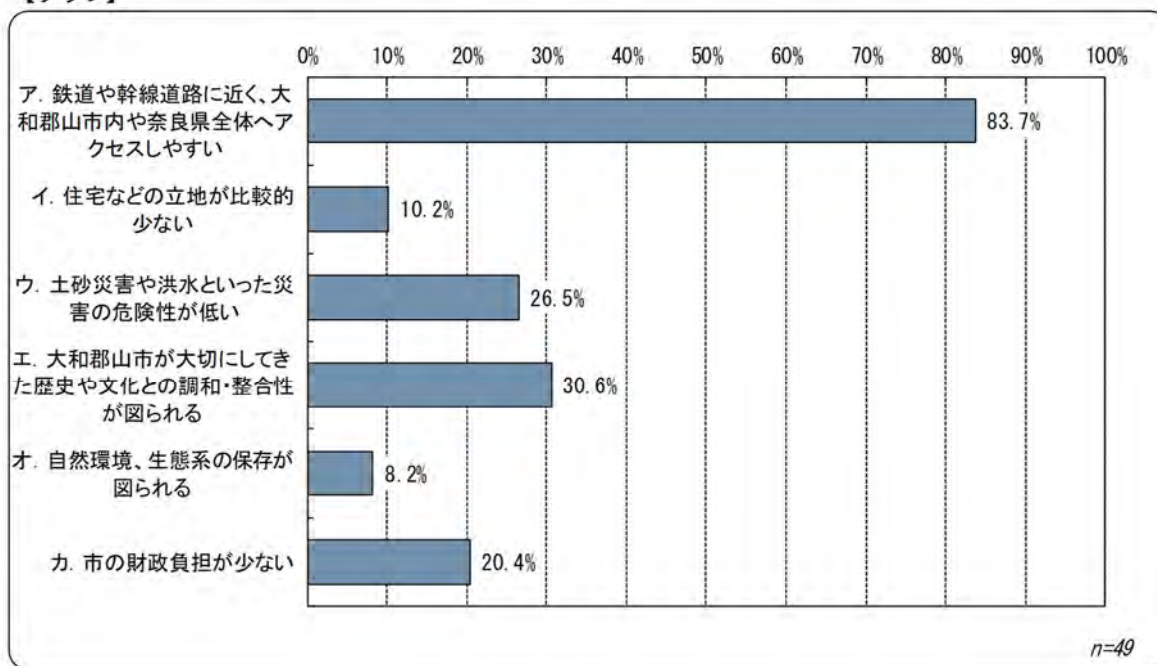
(当てはまるもの2つを選択してください)

【回答結果】

n=49

選択肢	回答者数（人）	構成比（％）
ア. 鉄道や幹線道路に近く、大和郡山市内や奈良県全体へアクセスしやすい	41	83.7
イ. 住宅などの立地が比較的少ない	5	10.2
ウ. 土砂災害や洪水といった災害の危険性が低い	13	26.5
エ. 大和郡山市が大切にしてきた歴史や文化との調和・整合性が図られる	15	30.6
オ. 自然環境、生態系の保存が図られる	4	8.2
カ. 市の財政負担が少ない	10	20.4
合計	49	100.0

【グラフ】



○結果について

- ・ 本設問において最も多かった回答は、「ア. 鉄道や幹線道路に近く、大和郡山市内や奈良県全体へアクセスしやすい（83.7%）」であり、次いで「エ. 大和郡山市が大切にしてきた歴史や文化との調和・整合性が図られる（30.6%）」、「ウ. 土砂災害や洪水といった災害の危険性が低い（26.5%）」であった。

3.3. アンケート調査結果のまとめ

市民向け・事業者向けアンケート調査結果のまとめを以下に整理する。

リニア中央新幹線計画について

- リニア中央新幹線計画について、市民・事業者ともに多くの回答者が、「知っていた」または「聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった」と回答した。

市内へのリニア中間駅誘致に向けた取組みの実施について

- 市内へのリニア中間駅誘致に向けた取組みの実施について、市民・事業者ともに多くの回答者が、「知っていた」または「聞いたことはあったが具体的な内容は知らなかった」と回答した。

リニア中央新幹線の開業や市内への中間駅設置に対して期待すること

- リニア中央新幹線の開業や市内への中間駅設置に対して期待することについて、市民・事業者ともに、「交流人口の増加」、「東京・大阪方面へ移動がしやすくなること」、「奈良県全体の活性化」に関する回答が多い結果となった。

リニア中央新幹線の開業や市内への中間駅設置に対して課題だと考えること

- リニア中央新幹線の開業や市内への中間駅設置に対して課題だと考えることについて、市民・事業者ともに、「既存公共交通機関の混雑」、「既存商店街や他の地域の沈滞」に関する回答が多い結果となった。
- また、市民向けアンケートでは、「工事に伴う住宅などの移転・立ち退き」を課題とする回答も多く挙げられた。

リニア中間駅設置に伴うまちづくりについて

- リニア中間駅設置に伴うまちづくりについて、市民・事業者ともに多くの回答者が、「自然や景観、現況集落などに配慮しながら、地域の活性化に必要な開発などを行っていく」ことが望ましいと回答した。

リニア中間駅の候補地検討に当たって重要だと考えること

- リニア中間駅の候補地検討に当たって重要だと考えることについて、「鉄道・幹線道路への近接性」に関する回答が最も多い結果となった。
- また、市民・事業者ともに「大和郡山市が大切にしてきた歴史や文化との調和・整合性」を重要視する回答も多く挙げられた。

その他主な意見（事業者向け）

- メリット・デメリットは、大和郡山市という「点」で考えるより、奈良県もしくは近畿中央という「面」で考えた方がよい。
- 未来の姿をイメージできるよう、情報提供しながら前向きに進めていただきたい。

3.4. アンケート調査結果を踏まえたスクリーニング条件の検証

市民向け・事業者向けアンケート調査の結果を踏まえ、「2.2 新駅候補地のスクリーニング」における条件設定の検証を行った。

【アンケート調査結果の回答傾向】

- 「リニア中間駅の候補地検討に当たって重要だと考えること」について、「鉄道・幹線道路への近接性」に関する回答が最も多く挙げられた。

- 「リニア中間駅の候補地検討に当たって重要だと考えること」について、「大和郡山市が大切にしてきた歴史や文化との調和・整合性」に関する回答が多く挙げられた。
- 市民向けアンケート調査にて、「リニア中央新幹線の開業や市内への中間駅設置に対して課題だと考えること」について、「工事に伴う住宅などの移転・立ち退き」が比較的多く挙げられた。

【新駅候補地に関してアンケート調査結果から読み取れる内容】

- リニア新駅は、鉄道・幹線道路等の交通アクセス性が良好な地点への設置を検討することが望ましい。

- リニア新駅は、既存市街地の状況や住宅などの立地との調和・整合性に配慮した地点への設置を検討することが望ましい。

【関連するスクリーニング項目と重要度】

重要度	項目
S	既存鉄道路線との位置関係
A	主要幹線道路との位置関係

重要度	項目
S	建物立地状況
B	土地利用状況

【検証結果のまとめ】

- 以上の検証より、スクリーニングの条件設定に当たって特に重視した内容が、市民・事業者向けアンケート調査による回答傾向と概ね相違ないことが確認できた。

《参考：新駅候補地のスクリーニングにおける重要度及び係数の設定（再掲）》

表 3.5 重要度及び係数の設定

番号	項目	重要度	重要度	係数
1	建物立地状況	S	S	4
2	既存鉄道路線との位置関係	S	A	3
3	主要幹線道路との位置関係	A	B	2
4	土地利用状況	B	C	1
5	上位計画での位置づけ	B		
6	ハザード状況（土砂災害）	C		
7	ハザード状況（浸水）	C		
8	ハザード状況（ため池）	C		
9	土地利用規制の状況	C		
10	標高・地形の状況	C		

第4章 留意事項

本業務での検討結果における留意事項を以下に整理する。

【検討結果における留意事項】

- 本調査では、定量的・定性的視点により、大和郡山市としてリニア中間駅の設置が望ましいと考えられる「新駅候補地」を検討するものであり、最終的な新駅設置位置は東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）が検討・決定することに留意が必要である。
- 加えて、新駅の候補地の決定については、地元住民の理解を重視し、十分な協議を行っていくことが重要である。
- また、大和郡山市の活性化だけでなく、近隣市町村（主に奈良県全体）への波及効果についても考慮することが重要である。